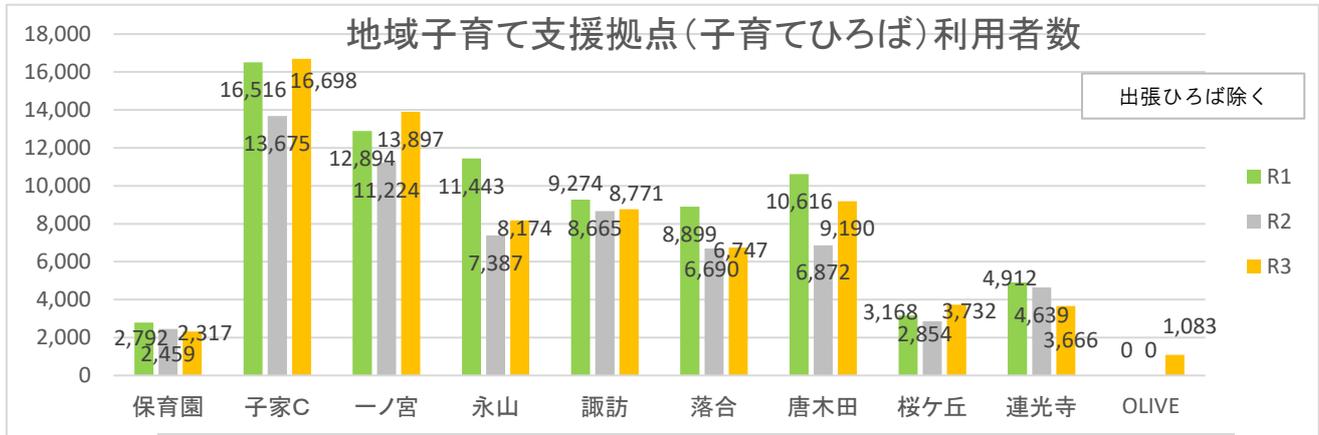


## 地域子育て支援拠点事業の利用状況

妊娠期から子育て期までの切れ目のない子育て支援を行う地域の身近な拠点として、親子の交流や相談を行う場所を提供する事業。

地域子育て支援拠点では、専任の子育てマネージャー（利用者支援専門員）を配置し、子育ての相談や助言、情報提供を行う利用者支援事業も実施している。



令和3年度は74,275人。前年度64,465人と比較し、115.2%だった。

新型コロナウイルス感染症により、令和2年3月～令和2年5月（3ヵ月間）は全拠点を閉鎖した。

【地域子育て支援拠点の整備経過】

平成27年5月から、子育て総合センター子育てひろば、多摩保育園子育てセンター、一ノ宮児童館、児童館、唐木田児童館の5拠点で事業開始。

平成28年5月から、諏訪児童館、落合児童館の2拠点でも事業開始。（7拠点体制）

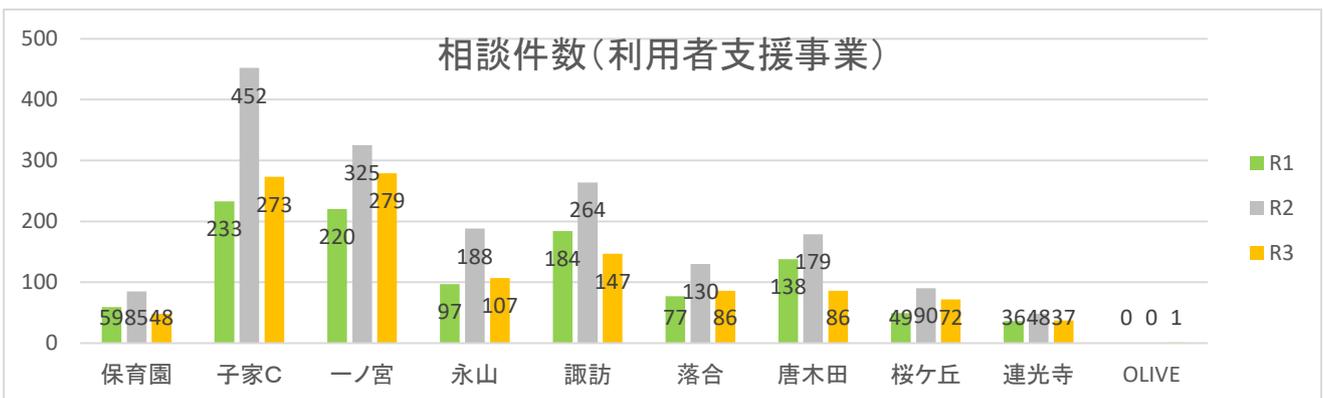
平成30年5月から、桜ヶ丘児童館が一ノ宮児童館の連携館として事業開始。

平成31年4月から、連光寺児童館で事業開始。（8拠点+連携館1館）

令和4年3月から、パルテノン多摩4階にこどもひろばOLIVEとして事業開始(9拠点+連携館1館)



令和3年度は2,245人。感染対策をしながら実施できる範囲内で出張ひろばを再開した。



令和3年度は1,136件。前年度1,761件と比較し、64.5%だった。

令和2年4・5月拠点閉鎖中に行った架電による状況確認の実績数を約600件計上したが、令和3年度は行っていないことから、件数は減っている。令和元年度は1,093件だったことから、令和3年度はほぼ横ばいと言える。